

CLOSE UP

卒業生インタビュー

ソフトテニスコース 2022年卒業

(株)カイセイ勤務
クロスティホールディングス所属

なかじま かえで
中嶋 楓さん (右)

2001年生まれ、福島県出身。県立平工業高校卒。インターネットで本コースを知り入学。在学中は朝練を欠かさなかったという努力家で、2年次に主将を務めた。ポジションは後衛

ながしま たくむ
永島 大空夢さん (左)

2001年生まれ、京都府出身。滋賀・綾羽高校時代にインターハイ出場。ソフトテニスの技術を磨くため履正社へ。チームを明るく雰囲気へ導くムードメーカー。ポジションは前衛



昨日の自分より

上手くなれるように。

——学生生活を振り返っていかがでしたか。

永島 入学してすぐ、コロナの自粛期間になつてしまつて……。試合が次々と中止になり、リーグ戦で昇格するのが目標だったので一年目は正直、辛かったです。でもその分、練習や自主練に思い切り打ち込みました。

中嶋 暗くなったら照明をつけてもらって。練習好きな僕らにはたまらない環境でした。

永島 高井先生に「何時間コートにおるんや！」つて言われたりして(笑)。自主練のときは先生から個別で教えてもらえたり、特別な時間でした。

——プレアの課題は何でしたか。

永島 僕はスマッシュの強化と試合運びです。高井先生は試合の運び方が本当に上手くて、よく見て真似してました。

中嶋 僕はまずストロークを磨けと言われて。「ストロークがまだまだなのにプレーが上手くなるわけない」と(笑)。まずひとつの技術を究める大切さを学びました。



永島 何より試合に一喜一憂しないこと、全力でプレーすることを言われたよね。

中嶋 勝ち負けや他人と比べるんじゃなく、昨日の自分と比較する。「ソフトテニスが上手くなるのを楽しむ」ことを教わりました。

——印象に残っている授業は？

中嶋 トレーニングの授業です。ナショナルチームのトレーナーさんが週に一度、来てくださるんです。ウォーミングアップとか、その時に学んだことは今もよくやります。

永島 役立ったのはビジネスマナー。失礼のない言葉遣いや礼儀を学べ、今となっては本当にこの授業があつて良かったです。

実業団でも活きる、 学生時代の学び。

——お二人は今、札幌の実業団チームに所属されています。

中嶋 SNSで募集を知って。福島先生と先方につながりがあったことも後押しになりました。

永島 僕は彼に教えてもらって即応募しました。普段は電気工事の仕事をしているから競技活動をしています。会社の理解があるおかげで、とても充実した時間を過ごしています。

中嶋 地域貢献活動として北広島市の少年団で競技も教えています。履正社で取得した指導者資格がすごく役に立っています。

——今後の目標を教えてください。

中嶋 実業団の1部リーグである日本リーグに昇格することです。

永島 チームの先輩がすごく有名な方なので、僕らも注目してもらえよう頑張ります。

——最後に、高校生にメッセージを。

中嶋&永島 ソフトテニスで「好きすぎる」なら、履正社しかありません！